



令和 8 年 8 月 6 日

九州地方整備局

被災地状況調査におけるデジタル化を進めます

～ 令和8年熊本地震における被災地への支援 ～

九州地方整備局は、令和8年7月28日に発生した令和8年熊本地震に係る被災地支援のため、TEC-FORCE隊員を被災地に派遣しています。九州独自のDXの取組の1つとして、被害状況調査におけるデジタル技術の活用（Smart-TEC）を、初めて試行的に実施します。

1. 派遣期間等

○派遣期間：令和8年8月7日（金）～令和8年8月10日（月）

※令和8年8月7日（金）9時30分から九州地方整備局 1F ロビーにおいて、「TEC-FORCE出発式」を行います。今回の調査では被災状況調査班のうち、1班を「Smart-TEC」として、派遣します。

※調査状況により、派遣期間が変更となる可能性があります。

○派遣場所：熊本県宇土市

※調査場所については、宇土市に派遣されたうえで、現地の状況をもとに決定します。

2. Smart-TECの概要（別紙参照）

○従来の被災状況調査からデジタル技術を活用することで、調査に必要な人数を削減するとともに、安全性の向上を図る取組です。

○あわせて、外業と内業の分担によるバックオフィス方式の活動へ転換することで、省力化・迅速化を図るものです。

3. 取材申込等

○取材を希望の方は、問い合わせ先までご連絡ください。場所や日時を改めて連絡します。

令和8年熊本地震に関する九州地方整備局の対応状況、記者発表、調査・支援活動等の状況（SNS投稿等）は下記のウェブページに掲載しています。

九州地方整備局がSNS（X等）で投稿している写真・動画は出典を明記することで利用可能です。※「無断転載を禁じます」等の注記がある場合を除きます。

https://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/r80728kumamotozisinn.html

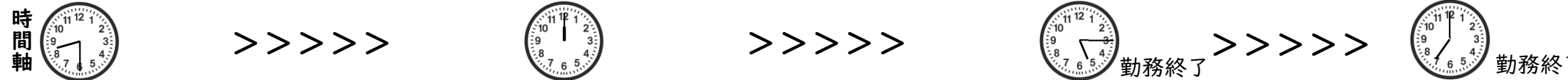


【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部（広報班）

企画部 企画課長 木下 覚人

電話：092-414-7301



従
来

外業

現地踏査（巻尺、ポール、スタッフ等）《4～5名で調査》



▲被災状況調査班による計測状況



▲過酷な調査状況

内業

同様の人員で報告書作成



▲夜間まで及ぶ内業状況

今
後

外業

現地踏査（レーザースキャナ等）《2～3名で調査 ⇒ 三次元点群データの取得》



▲Matterport計測状況



▲点群データ (PIX4D)



▲バーチャルツアー

内業班へ
データ送付

相互
連携

外業班へ
確認

※取得したデータからアップロードして内業班へ引継ぎ

内業

同時並行で、通信環境の確保できる遠隔地から報告書作成



◀別班での内業状況

- 被災状況調査へデジタル技術を活用することで、**調査必要人数の削減**（4～5名⇒2～3名程度）
- 外業と内業の分担による**バックオフィス方式**の活動へ転換